
魔法少女リリカルなのは～極限の力～

akira

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは〜極限の力〜

【Nコード】

N3323Z

【作者名】

akira

【あらすじ】

俺は急に神と名乗る人物から「世界を救ってほしい」と頼まれた。渡された力は極限の力：エクストリームガンダム。魔法少女リリカルなのは〜極限の力〜始まります。

「さあ、極限の希望を感じる。」

魔法少女リリカルなのはとエクストリームVSとのクロスです。不定期更新ですがお願いします。

ブローグ〜極限の力〜(前書き)

初めましてakiraです。

エクストリームVSをやってて急に書きたかったので書きました。
後悔はしてない。

プロローグ〜極限の力〜

気がついたら真っ白な空間にいた。

あれ？確かエクストリームVSをやってたんだよな、俺。

「気がついたかの？」

「おわ！」

「そんなに驚かんでもええじゃろうに。最近の若い奴らは直ぐに驚く。」

若い奴らじゃなくても驚くわ。

「まあ、ええ。とりあえず自己紹介しとこうかの。わしはお前さんたちで言う神と言う者だ。」

「え？神様？」

「と言っても思念体みたいなもので今の子の姿はお前さんたちのイメージしている神の姿でおるだけじゃ。」

「ふーん。でその神様が俺に何の用？」

「実はお主を見込んで頼みがある。」

頼み？

「パラレルワールドは知っておるじゃろう。可能性の分だけ世界が

あるという別世界の事じゃ。」

うん、知ってるよ。だてに二次小説読んでるわけじゃないんだし。

「実はその世界の一つを救ってほしいんじゃないよ。」

「なんで？」

「『リリカルなのは』は知っておるじゃろう？その世界で管理局と
言う組織がいることを。」

あー。そう言えばそんな組織いたわ。

俺、時空管理局あんまり好きじゃないんだよね。

だってまだ9歳の子供に戦場向かわすってどんな精神してるって話
じゃん。

「とある世界では管理局が大幅に改善された世界もあれば、そのま
まの世界もある。」

しかし、今回の世界では管理局の行為があまりにも酷いものでの。
わしを含めた各神達の会合で

その世界の管理局に介入することにしたのじゃ。」

「ちなみにどんな？」

「…酷いもんじゃ。あの冷酷な冥界の王さえも涙を流したのじゃ。
お前さんと同じ人間なのにあそこまで非道な事が出来るのかと思うと
身震いするわ。」

どうやらかなり酷いことをしてるらしいな…。

まあ、最高評議会のトップは脳味噌だしな。考えることが逸脱して

んじゃね？

「しかし、我らが直接介入すれば世界に影響が及ぶ。そこでお主に白羽の矢が立ったのじゃ。」

「俺？」

「お前さんは特異点…。他世界に介入しても影響を及ぼさない存在なのだ。」

それにお主は心優しい人間じゃ。悲しい人を救う力を持つてるんじやよ。」

…自覚ねえ。

「ふおおおお…。こればかりは自覚できんよ。さて長話はこれでおしまいじゃ。お主には直ぐに飛んでもらう。」

「おい。ちょっと待て。俺は元の世界に戻れるのか？」

「元の世界にはお主はきちんという。慈愛の神からの要望でな、今のお前さんは精神体で元の世界にはきちんとお主はおる。」

これは大切な人達を悲しませたくないという配慮じゃ。」

そっか…なら安心した。

「それとお主にこれを渡しておく。」

俺の身体が蒼白く光りだした。

「お主がやっていたゲーム…。エクストリームV Sかの？
そのラスボスの機体をお主の身体と同化させた。」

ラスボスの機体：エクストリームガンダム！？

「もちろん3つの支援パーツも揃えておるし、お主の意思次第で戦闘フィールドをラスボスの専用ステージに出来る。それと非殺傷設定にもできる。」

ありがたい。元々エクストリームはカルネージ・タキオン・イグニスの3つのフェイズで真の力が発揮できる。それにエクストリーム・ユニバースなら周りの人や建物を破壊せずに済むからな。

「大体はこんな所じゃ。何か質問は？」

「無い。じゃあ行ってくるよ。」

そう言っただけの意識は薄れっていった。

神 side

「頼んじゃぞ…。あの世界に極限の希望を与えられんこと…。」

神はそう言っただけで粒子となって消えた。

プログラグく極限の力く（後書き）

駄文ですがよろしく願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3323z/>

魔法少女リリカルなのは～極限の力～

2011年12月11日14時50分発行